

2024年9月16日

平和・地域活動委員会主催 多文化共生学習会

“共に暮らす”を考える～真の多文化共生を目指して～

平和・地域活動委員会
委員長 高橋 由美子

日本に暮らす外国人住民は年々増え続け、令和5年6月末時点における在留外国人数は、322万3,858人となり、過去最高を更新しています（「出入国在留管理庁」ホームページより）。同じ地域で外国人住民と共に暮らすことが珍しくはない時代になりました。

しかしながら、国籍や文化、宗教、信条、習慣など社会的背景が異なるがゆえに、私たちの偏見や思い込みなどから誤解が生じたり無自覚に相手を傷つけてしまったりすることがあるかもしれません。お互いに関心を持ち認め合うことが「わかりあう」心を広め、一人ひとりが大切にされる共生の社会を実現することにつながると考えます。

外国人住民が抱える課題を知り自分自身の意識と行動を改めて見つめなおし、一人ひとりを尊重し共に暮らしていくことを考えます。

- ◆日時 2024年10月10日(木) 10:00～11:45(予定)
- ◆開催方法 オンライン(Zoom ミーティング) ※後日録画視聴可
- ◆対象 組合員、パルシステムグループ役員及び子会社・関連会社社員
- ◆講師 横田 能洋氏(認定特定非営利活動法人茨城 NPO センター・コモンズ 代表理事)
楊 森氏(特定非営利活動法人アジア人文文化交流促進協会 理事・事務局長)
- ◆主催 パルシステム生活協同組合連合会 平和・地域活動委員会

【タイムテーブル(予定)】

時間	分	プログラム
10:00～10:10	10	開会挨拶・事務局からのご案内
10:10～10:40	30	横田 能洋氏 ご講演 「外国人住民が抱える課題～地域特性を生かした活動～」
10:40～11:10	30	楊 森氏 ご講演 「外国人住民と共に暮らすために～一人ひとりができること～」
11:10～11:40	30	質疑応答
11:40～11:45	5	まとめ・閉会

【お申込・その他】

- ・以下の URL (Google フォーム) か、右の二次元コードからお申込ください。
申込フォーム⇒<https://forms.gle/twg8zvfKZ7L2XbyT8>
- ・Zoom コード他のご案内は、前日 (10/9) までにメールアドレスへお知らせします。
- ・録画視聴希望の方も申込フォームよりお申込みください。事前にお申込みいただいた方に視聴 URL をご案内いたします (後日メールでご案内)。



【お問合せ先】 パルシステム連合会 地域活動支援室 (担当: 植田)
TEL:03-6233-7235 / Email:nonbil@pal.or.jp

申込締め切り 10月8日(火)

【講師紹介】



»横田 能洋 氏

千葉県出身、茨城大学卒業後、茨城県経営者協会で企業の社会貢献推進などを担当。1998年、NPO法成立を受けて茨城NPOセンター・コモンズを仲間と設立し事務局長に転職。様々な市民活動の相談や研修を行うほか地元の常総市に拠点を開き、日系ブラジル人の就職や子の就学支援を始める。2015年に鬼怒川洪水で拠点が被災し、「助け合いセンターjuntos」を立ち上げる。空き家増大、日本人の人口流出と外国籍住民の増加という地域の変化を受け、空き家を7棟改修し多文化保育、コミュニティカフェ、シェアハウスを運営。空き家を活用した多文化共生福祉のまちづくりに取り組む。

認定特定非営利活動法人茨城NPOセンター・コモンズ(<https://www.npocommons.org/>)

茨城NPOセンター・コモンズはNPO設立運営支援をしながら制度外福祉に取り組んでいる。ひきこもがちな若者の就労支援、災害被災者の生活再建支援に続き、常総市など茨城県西部に多く暮している日系ブラジル人などの外国籍住民への支援を2009年から行っている。特に外国ルーツの子どもの学習、進学支援を長くつづけ2018年からは多文化保育園も運営している。常総市は2015年の鬼怒川洪水で被災し多くの空き家ができたことから、それらをコミュニティの拠点として改修する地域の復興にも取り組んでいる。コミュニティカフェのほか4棟のシェアハウスを運営し、アパートが借りにくい多様な人々への居住支援に取り組んでいる。近年は難民申請中など、在留資格の変更が必要な人たちからの相談が増え、多文化ソーシャルワークの実践と普及に力をいれている。



»楊 焱 氏

中国北京出身。心理学専攻。大手企業向け人材育成、人事・組織コンサルティング会社に11年勤務し、海外現地法人実務責任者を経験する。会社勤務の傍ら、日中間政治、経済、文化に関する国際専門シンクタンク会議にて事務局兼通訳として十数年にわたり関わる。2010年にNPOアジア人文文化交流促進協会を設立。2017年より日本に暮らす外国人住民向けサポート活動に専念し、日本初の住民による外国人受け入れ活動「OFP」を立ち上げ、活動を拡大している。複数回受賞。

特定非営利活動法人アジア人文文化交流促進協会(<https://j-ii.org/>)

日本に暮らす外国人向けに総合的な生活支援活動を行っている。2020年に日本で初めて日本人と外国人をマッチングして、ペアで日常生活の中でサポート・交流を行う「おとなりさん・ファミリーフレンド・プログラム(略OFP)」を立ち上げた。2022年にパルシステム東京の助成を受け、現在は東京都を中心に、神奈川県、埼玉県、千葉県を含む広範囲に活動を広げている。OFPをはじめ、外国人住民向け相談窓口、日本語学習支援、勉強会、交流会など多様なサポートを行い、日本での生活になじみやすくし、情報不足と孤立の解決に取り組む。と同時に、一般の日本人市民に外国人住民と直接関わる機会を多く創出して、国籍や文化を超えた相互理解を深め、受け入れ社会側の変革を促進する。第11回若者力大賞、第17回かめのり大賞受賞。NHK放送大学にて紹介されるなど。